



こもろ

市議会だより

6月定例会

No. **171**
平成 29.8.8



9月定例会は8月29日(火)開会
一般質問は9月6日(水)・7日(木)・8日(金)の予定です



小諸看護専門学校 飛翼祭 (市民ひろば前)

暑中お見舞い
申し上げます



主な内容

- 6月定例会の概要 2～3ページ
- 常任委員会審査報告 4～5ページ
- 個人質問(14名) 6～12ページ
- 議員研修報告 13ページ
- 議会と語る会開催報告 14～15ページ
- ぽいす～キラキラ小諸人～
傍聴席・編集後記 16ページ

千曲小校舎アスベスト含有材除去の 補正予算を初日即決

一般会計補正予算・条例改正など 25 議案を可決

平成29年第3回6月市議会定例会が6月5日から6月27日までの23日間の日程で開かれました。本定例会では、理事者から補正予算条例改正、人事等の20件が提案されそれぞれ可決、同意しました。
また、議員より補正予算の提出について附帯決議を求める発議など5件が提出されすべて可決しました。

主な議案

◆補正予算

平成29年度小諸市一般会計補正予算(第1号)

千曲小学校校舎の一部にアスベストを含む吹き付け材が使用されていることが判明したため、除去費用として1千700万円を増額する補正予算が計上されました。調査結果ではアスベストの浮遊はみられません。今後の児童の学校生活に配慮し、夏休み中に除去工事を行うため、6月定例会初日に審議を行い即決しました。



千曲小学校

平成29年度小諸市一般会計補正予算(第2号)

3億2千万円を増額する補正予算が可決されました。主な内訳は次のとおりです。

小諸厚生総合病院の救急医療体制確保のための交付金5千万円。

浅間南麓こもろ医療センター(現小諸厚生総合病院)の開院に備え、集

約駐車場から病院への案内表示、照明設置等の工事費用1千300万円。
天池総合運動場の多目的スペースにクラブハウス等の整備費用2千200万円。

水明小学校の各教室の暖房器具をFF式暖房機に入れ替えるための機器の購入・設置費2千8万円余を増額。

平成29年度小諸市水道事業会計補正予算(第1号)
漏水の著しい配水管の改良工事費等4千582万円余を増額。

◆条例

小諸市働く婦人の家条例の一部を改正する条例

「働く婦人の家」の名称が「こもろ女性の家」に変更となるもので平成30年4月1日から施行されます。

小諸市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

「コミュニティ交通協議会の廃止及び働く婦人の家の名称変更に伴う運営委員会の名称変更の改正で、それぞれ平成29年11月1日と平成30年4月1日から施行されます。

小諸市環境条例の一部を改正する条例

地下水保全のため小諸市全域を地下水保全地区とし、井戸の設置の許可罰則等について改正するもので平成30年1月1日から施行されます。

小諸市児童発達支援施設条例の一部を改正する条例

児童発達支援施設(ひまわり園)の利用者増加に伴い、定員を増員するための改正を行うもので平成29年7月1日から施行されます。

意見書

次の意見書を内閣総理大臣ほか関係省庁へ提出

しました。

●国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書

●義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

●第193回通常国会運営に抗議し、臨時国会開会を求める意見書

人事

農業委員選任の同意

法律の改正により、農業委員は「公選制」から市議会の同意を条件とした市長の「任命制」へ変更となったことに伴い、平成29年7月20日の農業委員改選に合わせ新制度を適用するものです。今定例会で18名の農業委員の選任について提案があり同意しました。

- ・福井 英行 (市)
- ・荻原 勝己 (森山)
- ・清水 信 (宮沢)
- ・松本 照雄 (御牧ヶ原)

6月定例会概要

反対討論

改正組織犯罪処罰法は、「組織的犯罪集団」「計

第193回通常国会運営に抗議し、臨時国会開会を求める意見書の提出について議員より発議があり、それに対し討論がありました。採決の結果、賛成多数で意見書を提出することが決定しました。

討論

- ・ 柏木 貞巳 (一ツ谷)
- ・ 神津 一 (芝生田)
- ・ 岡村 英昭 (西原)
- ・ 星野今朝雄 (松井)
- ・ 小山田 武 (柏木上)
- ・ 堀内 廣 (市町)
- ・ 依田十三男 (菱野)
- ・ 清水 清和 (御影)
- ・ 大池 満雄 (加増)
- ・ 湯本 正人 (乗瀬)
- ・ 小林 正明 (八代)
- ・ 土屋 英子 (菱野)
- ・ 高木 蘭子 (六供)
- ・ 土屋 寿恵 (御影)

賛成討論

画」「実行準備行為」の三重の限定により厳格に規定されている。計画段階での処罰はできない。委員会採決の省略は民・共の暴挙などによる審議拒否の結果であり、これこそが抗議すべきことだ。加計学園問題は閉会中審査等、適切な対応で徹底した調査と説明責任を果たすべきだ。

市民の誰が処罰対象となるのか不明確な「共謀罪」の審議において、本質的な疑問や問題点に答えないうまま「数の力」で強行成立させたことは断じて許せない。議会制民主主義においては、国会の場で説明責任を果たし、国民の不安に応えるべきであった。「加計学園」等の疑惑解明に向け、臨時国会の開会を求める。

議案に対するの表決状況

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。◎は賛成、●は反対を表しています。

| 議員名 | 高橋 公 | 土屋利江 | 掛川 剛 | 小林一彦 | 丸山正昭 | 山浦利夫 | 早川 聖 | 竹内健一 | 柏木今朝男 | 神津眞美子 | 清水喜久男 | 依田善典 | 中村憲次 | 小林重太郎 | 田中寿光 | 福島鶴子 | 柏木博美 | 相原久男 | 林 稔 |
|---|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|-----|
| 第193回通常国会運営に抗議し、臨時国会開会を求める意見書の提出について ※1 | ◎ | ● | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ● | ● | ◎ | ● | ◎ | ◎ | ◎ | ● | ◎ | ◎ | ● | ◎ |

※1 議長は表決には加わりません。

請願の審査結果

| 種類 | 件名 | 氏名 | 結果 |
|----|--------------------------------|-----------------|----|
| 請願 | 国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書 | 小諸市教職員組合代表 今井 誠 | 採択 |
| | 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書 | 小諸市教職員組合代表 今井 誠 | 採択 |

◆継続審査となっていた陳情29-1「共謀罪」創設に反対する陳情書については、国会での法案成立に伴い採決不要となりました。

議員定数の検討を行っています

議員定数については、前16次議会で検証を行い、17次議会（H26）より21人から19人に削減しましたが、次の市議会議員選挙の1年前までに現在の状況を検証し、次期の議員定数をお示ししたいと考えています。

現在は、3常任委員会（総務文教・福祉環境・経済建設）で予算、決算を含む分割審議を行っています。予算決算委員会の設置を検討中であり、その結果によっては、常任委員会の在り方も大きく変わってきます。議会では、現在の審議の状況を踏まえて、市民の皆さまのご意見をお聞きしながら適正な定数について検討してまいります。是非、皆様のご意見をお寄せください。

常任委員会審査報告

各常任委員会で審査した議案の 主な内容をご報告します

6月19日
**経済建設
委員会**
報告

■平成29年度小諸市一般

会計補正予算(第2号)

質疑 観光地域づくり事業の中で、ブランド発信・強化業務委託料2千万円について具体的にどのようなことを委託するのか。

答弁 現在、具体的にどう使うかは確定していない。これは地方創生推進交付金事業で、こもろ観光局を核としたオール小諸で取り組む観光地域プロジェクトの5カ年計画の内の1年目の平成29年度の予算がついたもので、これからのように有効活用をしていくか、協議を進めていきたい。
質疑 市長公約である小諸ブランドの立ち上げについて具体的にブランディングの骨子について

示すべきである。これがない中で5年間の継続事業であるブランディング推進事業2千万円については、詳細も理解できないし委員会審査にならない。

答弁 説明不足のところは今後の協議会で説明をしていきたい。

討論 観光地域づくり事業は、事業の目的、内容、担当部署、委託先工程等が曖昧であり、事業及び予算の妥当性は判断しがたい。しかし、小諸ブランドの確立については同意するところであり、迅速かつ着実に推進すべき施策と史料する。加えて本事業は事業内容等が煮詰まっていないもの、地方創生推進交付金の内示を反映した事業であることから、好機を活かすべきと判断するが、推進計画を具体的にかつ明確に示しながら、その推進計画を根拠とする事業の展開を求める附帯決議を付

すべきである。
※全会一致で附帯決議を付しました。

質疑 集約^(注1)駐車管理事業の案内サインの改修工事について、提案に至る意思決定過程はどうか。

答弁 病院と一緒に案内サインの検討委員会を作り、現地を見ながら検討した中で素案を示し、西側駐車場は、職員が車を実際に運行して意見を出し合ってまとめた。



中央西側駐車場 (図書館側から撮影)

(注1) 集約駐車場とは中央地下駐車場・中央西側駐車場・赤坂駐車場を示します。

6月20日
**文教総務
委員会**
報告

■小諸市特別職の職員で

非常勤の者の報酬及び

費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

質疑 コミュニティ交通協議会の解散により、今後、地域公共交通を運用していく中で、これまでの協議会の役割はどうなっていくのか。

答弁 今後は、許可手続等について、地域公共交通連絡会議をもって、道路運送法上の法令の手続きについて、打ち合わせや協議を行っていく。市民からの意見については、庁内関係課と連携して意見要望を聴取していく、引き続き利用者アンケートをとりながら改善に努めていく。

■平成29年度小諸市一般
会計補正予算(第2号)
質疑 広報こもろの広告の募集に当たり、要綱はあるのか。

答弁 市の要綱があり、公序良俗に反するもの等は掲載できない規定になっている。

質疑 全小中学校の阿斯ベスト検査について、これによって安全宣言を出せるのか。

答弁 千曲小学校で、阿斯ベストを含有するヒル石の吹き付け材が発見されたことを踏まえ、全小中学校について、改めて専門機関による調査を行うことが一番確実であり、万全を期したい。

質疑 英語教育強化地域拠点事業の内容とは。

答弁 平成27年度から国の強化地域の指定を受け、カリキュラムや教材研究のほか、各学校では授業実践を重ねてきている。今年度は、全国公開授業及び研究発表会を開

【答弁】 下の段の多目的グラウンド隣接に、20坪程度で、更衣室にミーティングルームを備え、トイレの併設も考えている。設計の詳細はこれからだが、高地トレーニングで利用のほか、市民が使いやすいやすく、また、ゲリラ豪雨などの際に避難できるものを考えている。



天池総合運動場

催し、これまでの研究成果を全国に発信していく。
【質疑】 音楽のまち小諸作曲コンクールは、今回1回だけの開催なのか。
【答弁】 今回の状況により検討したい。
【質疑】 天池総合運動場に建設するクラブハウスの規模等はどうか。

【答弁】 下の段の多目的グラウンド隣接に、20坪程度で、更衣室にミーティングルームを備え、トイレの併設も考えている。設計の詳細はこれからだが、高地トレーニングで利用のほか、市民が使いやすいやすく、また、ゲリラ豪雨などの際に避難できるものと考えている。

【質疑】 個人の井戸についても規制されるのか。

【質疑】 ひまわり園は、福祉行政全体のあり方の結論を出してから整備する方が整合がとれる。今回のトイレ改修後、二重投資の懸念はないか。
【答弁】 トイレ改修は早急に行わなくてはならない。今後の整備については二重投資にならないように検討したい。

【質疑】 より専門性のあるスタッフを入れる気はないか。
【答弁】 母子通園のため、母親のケアも重要視して保育士を増員する。専門性が高いスタッフは必要と認識しているが、確保は難しい。

【質疑】 平成29年度小諸市一般会計補正予算(第2号)

【質疑】 小諸厚生総合病院の経営状況は把握しているか。また交付金使途の具体的な要望を確認しているか。
【答弁】 経営状況は安定しており、損益計算書では補助金を出した結果、黒字を確認している。交付金使途は、救急部門の医師、看護師等の人員費で、施設整備等の要望はない。



ひまわり園園舎

【質疑】 定員5人増で充足するのか。
【答弁】 登録児童は20人を超えるが、計画的に通園しており、現在の利用者は1日10人程度であり問題は無い。

【質疑】 補正額が大きいが、当初予算に入れられなかった理由は何か。
【答弁】 当初予算は12月に作成するが、その後漏水が発覚したもので、一級河川千曲川を占用する重要な配水管であるため、将来の配水計画を含め緊急に補修計画を策定したい。また鵠久保配水池送水ポンプについては、新大久保配水池の完成後、3月に試運転をした結果、不具合を確認したので改良工事が必要になった。

【質疑】 小諸市児童発達支援施設条例の一部を改正する条例

【質疑】 小諸市環境条例の一部を改正する条例

【質疑】 小諸市環境条例の一部を改正する条例

【質疑】 小諸市環境条例の一部を改正する条例

【質疑】 小諸市環境条例の一部を改正する条例

6月21日
福祉環境委員会
報告

【答弁】 1日の採取量が10立法メートル以下であれば規制されない。

【質疑】 平成29年度小諸市水道事業会計補正予算(第1号)

5月19日
「予算決算審査方法と議会のPDCAサイクル」についての研修会

分科会(常任所管単位)において議会報告会等での意見を反映させた提言案を検討しています。





農業再生協議会の今後はどうか

清水喜久男

質問

平成30年から米の生産数量目標（減反制度）が無くなる中で、農業再生協議会の今後はどうか。

市長

農業再生協議会は、米の適正生産推進のため、国の施策である経営所得安定対策を地域で推進するに当り、県と市町村に設置が義務付けられた組織です。

国で進めてきた米の生産数量目標配分と米の直接支払い交付金が平成29年度で廃止されるが、米の需要を均衡させて米価の大幅な下落を防ぐため、引き続き全国が連携して需要に見合った適正生産を推進する必要がありますので、小諸市農業推進協議会も同様に推進していく。

質問

佐久平駅から市区（県道小諸中込線）への市道整備計画はどうか。

市長

佐久平駅周辺の開発や佐久市内の幹線道路の整備により、佐久平地域全体の交通体系が大きく変化



御影用水越流時の様子

している中では、こうした課題に基づき全体感に立って計画すべきと考えている。

小諸市内では既存の県道に接続することが想定され、新たな渋滞等を発生させることが危惧されるので、両市の課題解決や地域振興を含めた計画協議を進めたい。

質問

御影用水管理委員会への緊急連絡体制と事務委任内容はどうか。

市長

御影用水災害防止及び災害発生時対応マニュアルや緊急時の連絡網の見直し等の他、異常現象等発見時の緊急連絡系統を整備した。



中学校の部活のあり方について

小林一彦

質問

文部科学省が昨年実施した教員勤務実態調査によると、先生方の1週間当たりの勤務時間は、土日の部活動に係わる時間を主因として、平成18年と比べて15・2時間増加して63・3時間となっている。部活の過熱化が進んでいることの一端が伺える。教育長はどのように受け止めたか。

教育長

調査の方法によりばらつきはあるが、確かに増えている。長野県でもこのことを問題にしており、何パーセントか毎年減らしていくように取り組んでいる。

質問

先生方の長時間勤務の改善については、1自治体でどうにかなる問題ではないが、市長としての感想を伺いたい。

市長

特に部活が及ぼしている影響が浮き彫りにされ、過酷だと思う。教育委員会ともしっかり話し合いをする中で、様々な方策、手段に

より先生方の負担を少しでも軽減できるように努めていきたい。

質問

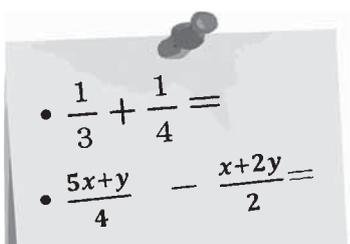
分数計算など基礎的な学力を習得していない生徒の指導についてどう考えるか。

教育長

学び直しの時間を置きながらやっつけていくというと思うが、教える内容が豊富なためなかなか厳しい現場で工夫して指導していかねればいけないと思っている。

意見

先生方が部活指導に費やす時間のうち、週1時間を補習授業や個別指導に向けることを強く望む。



小5で学ぶ通分できず

中1で学ぶ文字式の計算がわからない。



佐久平駅アクセス道路実現の努力を

高橋 公

質問

佐久平駅アクセス道路について、今年度予定していることはなにか。

建設部長

佐久平市とは、現状の道路環境の課題の拾い出しを行うとともに、それぞれの地元に見直しをしながら、それぞれの地元に見直しをしながら、全体の説明会ではなく、区長さんレベルと行政の懇話的な課題の拾い出しを予定している。



小諸市につなげたい、佐久平の道路

質問

ふるさと納税についての、4月

1日付の総務省通知に対する小諸市への影響はどうか。

市長

総務省通知によって、返礼品の入れ替えや仕組みを大きく変更することはない。

質問

ふるさと納税の獲得額目標値の見直しの必要はあるか。

市長

寄附実績は平成27年度の69万円に対し、平成28年度は5千213万円、前年比で7・7倍と寄附額を大幅に伸ばすことができた。平成29年度の目標額、1億円は見直す必要はないものと考えている。

質問

ふるさと市民制度は、「懐古園や藤村記念館などに無期限で毎月最終金曜日から3日間無料で入れる。」とすることと間違いないか。

企画課長

月末の金土日はぜひ小諸に寄って頂きたい、という思いで制度設計をしたもので間違いはない。



深沢溪谷の未来に向けて

丸山 正昭

質問

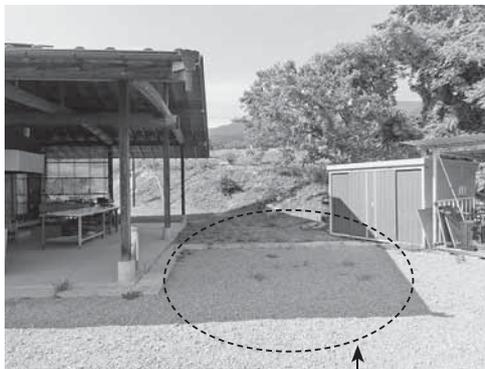
深沢溪谷の利活用について、こもろ観光局とどのように連携していくのか。

市長

深沢溪谷やみはらし交流館をはじめ、西部地区の魅力を生かした滞在プログラムを開発中であり、市としても、こもろ観光局と連携し、西部地区の魅力ある滞在プログラムが早期に実現できるよう、協力していきたいと考えている。

質問

みはらし交流館の増設についてはどうか。



みはらし交流館 増設希望場所

市長

一生懸命に地域の活性化に取り組んでいる活動で、市の支援により相乗的に効果が期待できる取り組みを支援する「小諸市ワクワク農村づくり未来プロジェクト交付金」を活用しながら検討を始めて頂いています。施設の増設についても、運営者である西小諸活性化施設運営委員会と相談した上で、利用者の要望に応える整備やさらなる魅力づくりについて検討したいと考えている。

質問

除融雪業者の提出書類の簡素化はできないか。

市長

必要な書類は、月ごとにまとめて提出して頂いており、作業時間を確認するための写真撮影の方法や提出枚数を合理化する等の工夫により、受託業者の負担軽減に配慮してきました。今後も引き続き業者の皆様からの提案を頂きながら改善できる部分については柔軟に対応したい。



安心して安全に暮らし続けるために「防災対策」

柏木今朝男

質問

女性視点での防災対策の充実が急務と考えるがいかがか。

総務部長

避難所運営に女性の参画を推進すると共に、備蓄品等も男女のニーズの違いなどの視点を持って、順次計画的に整備していきたい。

質問

女性目線での防災対策の確立のため、女性の防災会議への進出や防災リーダーの育成、防災訓練への女性の参加等が重要ではないか。

総務部長

女性防災士は9名いるが、各地域での防災リーダーとしての中心的



各戸配布されている
家庭用防災マニュアル

な役割を担えるよう働きかけたい。防災訓練への参加も検討したい。

質問

防災関係機関が連携して災害時の状況を予め想定し、共有した上で、いつ・誰が・何をするか、防災行動を時系列で整理した計画「タイムライン」の策定は、特に要支援者のために必要ではないか。

総務部長

浅間山火山災害は策定済みだが、広い災害に向けて調査研究したい。

質問

災害情報に係る名称が変更されたが、特に対象の高齢者・障がい者・乳幼児など避難に時間を要する人への徹底と対応はどうか。

市長

広報こもろ8月号に掲載する。

質問

近年、災害時に無料で飲料、お湯、水を提供できる災害対応型紙カップ式自販機ができたが、災害協定に含めて設置できないか。

市長

今後、設置について研究したい。



オールこもろのまちづくりについて

相原久男

質問

小諸市総合計画第5次基本構想の実現に向け、各計画に対する庁内(各部)の連携はどうか。

市長

第5次基本構想は、地域経営の計画と位置付け策定されているが、実態として各計画期間の連携を特に重視したとはいえない状況であった。

計画と計画の連携が図られていないと、同じ地域や組織の中で違った目標や役割が示され、計画が形骸化する大きな要因となる。計画をしっかりと運用する必要性が求



三の門

められる近年の社会情勢から、今後は「各計画の連携を図る」ことが極めて重要であると考えている。

質問

懐古園の運営について、宗教学人懐古神社からの借地地代、年間1千2百万円の更新時だが、「オールこもろのまちづくり」の観点からも、市民の皆様にも理解の頂ける協議についてはどうか。

市長

市民の皆様が納得頂ける適正な地代について、懐古神社と協議を進める。協定書については、現状と合わない部分があり、地代と併せ協議をしたいと考える。

質問

活火山浅間山を活かしたジオパーク的まちづくりについて、郷土を知る学習はどうか。

教育長

浅間山は地域を語る上で欠かせない大切な宝である。小諸の自然環境を長く将来にわたって守り、引き継いでいく責務があり、ふるさと学習の中で理解を深める。



大丈夫か 市役所駐車場

掛川 剛

駐車可能台数について

質問

小諸厚生総合病院の開院が半年後に迫った。既に地下駐車場は満車が何度もあったが、開院後3つの駐車場で収容できるか。万一の状況に対応できるように体制を整える必要があると思うがどうか。

市長

開院後は3つの駐車場が満車状態になることが想定される。3つの駐車場以外に周辺に平面駐車場の確保を検討している。

質問

予備的な駐車場の確保に向けて



早期オープンが望まれる
中央西側駐車場

具体的な対策は進んでいるか。

建設部長

市街地を離れる可能性もあるが、代替的な平面駐車場の確保に取り組んでいる。

費用負担について

質問

病院へ敷地を無償提供、移転・新築費で30億円を出して、駐車場建設では20億円を投じ、市で建設している。至れり尽くせりの対応だが、駐車場の維持管理経費の病院負担はどうか。

市長

延べ床面積を基準とし、病院6割、市4割で協定締結に向け協議を進めていく。

質問

市民の税金で負担するのだから経費負担の根拠は市民が納得できるように説明すべきではないか。

建設部長

通常の維持管理費のほか維持修繕費についても積算の根拠を市民に説明できるようにしたい。



「市民の声」と「行政の責任」について問う

福島 鶴子

質問

自治基本条例では、行政と市民の信頼関係を謳っている。市民の声にどう応えようとしているか。

市長

市民のニーズには、皆さんが何を求め、何を感じているか「市民目線」で対応したいと考えている。

質問

「野岸の丘を愛する会」の皆さんが「何を考え、何を聞きたいか」の返事になっていない。なぜか。

総務部長

市に届いたハガキには細かい要望が示されていないかった。

質問

全議員に送られてきた手紙からは、消防庁舎の移転先が「野岸の丘」に決まった事に対し、そこがマレットゴルフ場として、又周辺住民の憩いの場として、皆なで大切に整備してきた思いが伝わってきた。そうした事情を知って、責任者である副市長はどう思ったか。

副市長

行政の責任者として、市民全体の安心、安全を考え、そうした事情があっても、決定は変わらない。

質問

市長はどう考えるか。

市長

消防庁舎移転先の場所の選定は間違っていないかと思うが、もう少し配慮や、気持ちを汲みとる事を重視し、今後に活かしたい。

質問

市民が声をあげるには相当な勇気が必要と考える。それに応える姿勢も大事だと思うがどうか。

市長

議員の言うとおりに思う。



現在の野岸の丘周辺



自校・自園給食の充実を

土屋利江

質問

経済的に困窮している児童生徒の家庭が増えている。必要保護者就学援助金の支給状況はどうか。

市長

28年度は、児童が238名、生徒が170名に対し、総額3千万円の支給を行った。1人当たりの支給額は、小学生で約5～8万円。中学生は約7～13万円で、9月と3月に分けて支給した。

質問

小諸市の給食は、地産地消を早くから取り入れ、水準の高い給食を提供しているが、アレルギーのある児童の実態はどうか。



「入園のしおり」にあるアレルギー対応の案内

市長

今年度は、小中学校が141人で4・3%、保育園は42人で8・8%です。

質問

アレルギー食対応は、事故を起こさないことであるが、調理員の配置拡大や調理室の整備の考えは、

教育次長

ハード的な整備は、現時点では難しい。

質問

食品ロス削減から、学校、保育園の残食の状況はどうか。

教育次長

28年度は、小学校6校で児童1人当たり1・02kg、中学校は0・39kgです。特に東中の取り組みが熱心で1人当たり年間0・15kgという成果が上がっている。

質問

小諸の魅力のアピールにどうか。

市長

市内外、特に市民の皆さんに自校・自園給食の取り組みをPRしていきたい。



子どもの口腔崩壊が心配

早川 聖

質問

長野県保険医協会の学校歯科治療調査報告書に、学校歯科健診で、歯科受診が必要と診断された児童生徒のうち、48・6%が歯科を受診していない実態があり、「虫歯が10本以上ある」「歯根しか残っていないような未処置の歯が何本もある」いわゆる「口腔崩壊」の児童生徒に出会ったことがある養護教諭が4割以上という調査結果があるが、市内の状況はどうか。

教育次長

歯科検診で治療や受診を要する判断が出た児童生徒の家庭へ結果等を知らせている。受診したかどう

学校歯科治療調査2012年度アンケート調査結果の概要

小・中学校別結果

| | 小学校 | 中学校 |
|----------|--------|--------|
| 検診対象 | 60,770 | 35,714 |
| 要受診 | 20,787 | 9,125 |
| 受診数 | 11,888 | 3,431 |
| 受診率 | 57.2% | 37.6% |
| 口腔崩壊 | 97 | 43 |
| 養護教諭 経験率 | 47.8% | 39.1% |

出典：学校歯科治療調査(2012年度)報告書
長野県保険医協会

質問

うかの確認は、学校によって違いはあるが、約5割強が確認できていない。

質問

生活習慣予防や全身の健康状態の維持・増進が、介護予防などに貢献することが明らかになっている。歯及び口腔の健康を保持することが極めて重要である。当面、公立保育園でフッ化物洗口を実施するとのことだが、小学校でも導入できないか。

教育次長

その効果は実感している。保育園の年長辺りからスタートし、その方向を進めたい。

質問

健診数が増えれば予防にもつながり、健診結果に基づいて医療機関への受診を促すこともできる。さらには親への指導や援助の機会も増えるので、春に1回実施している学校健診を、上小地域のように、年2回にできないか。

市長

今後、検討していく。



クリーンヒルこもろの運営状況はどうか

竹内 健一

質問

クリーンヒルこもろの処理費用は、民間委託時と比べてどうか。

市長

委託時はトン当たり4万7千円だが、28年度は年間試算で1万5千円減の3万2千円となった。

質問

課題とその対応はどうか。

市長

燃やすごみ処理量が約6千7百トンと12%増えているため、減量化推進のため、アドバイザーを委嘱し施策を図っている。

質問

市所有の遊休地の活用はどうか。

市長

狭隘、傾斜地等条件が悪い土地は処分が進まないが、他の有効利用できる土地は、自主財源確保の観点から売却・有償での貸付け等により財産収入の増に努めている。

質問

企業誘致のための開発はどうか。

市長

現在、紹介できる土地が無い



募集停止した旧中松井団地

め、産業団地造成の必要性や費用対効果、候補地等を検討し、企業立地計画を立てていく。

質問

東南部地区遊休地を若年世帯の住宅地として整備できないか。

市長

インフラ整備の必要な土地もあるが、定住促進のため売却方法を含め検討する。

質問

募集停止の市営住宅地の行方は。

市長

入居者の住み替えや用途廃止等を進めるとともに、団地の活用方針を全庁的に研究していく。



市の組織として協働の取り組みを

柏木 博美

質問

今年、自治基本条例施行後8年が経ち、2回目の見直しの年度となっている。

前回は「市民協議会」を設置して見直しの検討をしたが、市民への周知が低く、条例の理念に沿った取り組みは不十分であり、条例の改正は必要ないとして、条例を

実効性のあるものにするための提言を受けた。

今回はどのように見直しを行い、市民参加、協働のまちづくりを進めていくのか。その考え方と進め方の手順はどうか。

市長

自治基本条例の理念を具体化したものが総合計画なので、それが条例の理念により運用されているかどうかを検証していきたい。

進め方は、限られたメンバーではなく、だれでも参加できる意見交換会を7月と8月に開催し、総合計画の評価等も鑑み、市の方向性をまとめ、パブリックコメントで最終的な意見を頂いていきたい。

質問

市民協議会からの提言で26年度に設置された「市民協働推進市民会議」から、「市の組織として自治基本条例を共有している」とは言い難い。組織内での協働を実践すべきであり、それが自治基本条例の理念を具現化する第一歩となる。」との指摘を受けているが、市長はどのように受け止めているか。

市長

この間ずっと言ってきた市役所改革にも繋がるものだと思う。しっかりと対応していきたい。





養護教諭の役割は、十分に発揮できているか

小林重太郎

質問

スクールソーシャルワーカーは、必要な児童生徒に対応できているか。

教育長

不登校やいじめ、虐待、暴力行為など児童生徒が抱える問題は、本人の心の問題、学校内の問題、家庭が抱える問題などが背景にある。その内容は複雑であり、学校だけでの対応では解決に至らないケースが増えている。各学校へは教育事務所から有効活用について情報提供があり、学校も困ったときは相談する。支援が必要な児童生徒への対応がなされている。



質問

養護教諭の役割は、十分に発揮できているか。

教育長

近年、学校や子どもを取り巻く状況が多様化、複雑化する中で、その役割も次第に変化し、現代ならではの健康上の問題を抱える子どもへの対応の比率が高まっている。

身体的な不調などの背景には、家庭生活上の問題や、いじめや虐待、不登校、貧困などが深く係っている場合がある。これらのサインにいち早く気づくことのできる立場にある養護教諭の役割が、これまでにも増して重要になっている。

質問

養護教諭と他の教職員との情報共有と連携は充分か。

教育長

養護教諭は、寄せられる情報について児童生徒の気持ちを大切にしながら、担任教諭などと共有し、連携を大事にしている。



人口減を食い止める施策はどうか

中村憲次

質問

小諸市の加速する人口減少と少子高齢化への今後の対応について、統計では2040年には24%減の3万2千人余になるとの推計が出ているが、具対策はどうか。

市長

現在は、人口減少という政策課題に対して、特効薬は無いのが実情である。実効性の高い政策として、小諸市版総合戦略の一つ「若い世代が家を持てるまち」をコンセプトとした具体的な政策を打ち出していきたい。

質問

人口減を食い止めるための市長公約施策の一つ、未婚者への「婚活支援」について、「人口増」へつながる対応として、県も積極的な施策を打ち出しているが、小諸市の姿勢はどうか。

市長

婚活支援については、少子化対策に欠かせない施策であり、人口の自然増、出生率向上に寄与すると理解している。行政の取組みは、

個人のプライバシーの領域に関する問題もあるため、様々な団体に対しサイドからの財政面も含めた支援を行っている。また、庁内の推進体制も検討していく。

質問

子育て支援では、特に中央保育園整備について喫緊の対応が必要と考えるが、統廃合も視野に入れた整備計画はどうか。

教育長

中央保育園、芦原保育園については、築40年が経過し老朽化が進んでおり、建て替えの対応が必要と認識している。統廃合も視野に入れ早急な対応をしていきたい。



老朽化が進む中央保育園園舎

追跡レポート

その提案はどうなったの？

◆太陽光パネル設置は規制するべし！

事業用太陽光発電設備設置のガイドラインが7月1日に策定となりました。

これは議会の経済建設委員会及び議員個人による一般質問などで、行政に対し、迷惑施設になり得る大規模ソーラー発電事業について、条例などで規制するべきと再三提案し、それがガイドラインとして定められることになったものです。

③主な内容

- ・『小諸市環境条例』を遵守すること。
- ・地域住民に事業内容を周知し、求めに応じ協定を締結し、行政に提出すること。
- ・法令等である

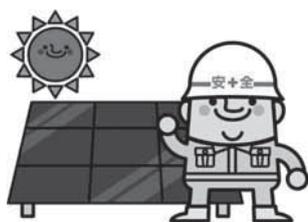
- 『土砂災害防止法』
 - 『森林法』 『農地法』
 - 『自然公園法』
 - 『小諸市景観計画』
- などを阻害する恐れがある地域には設置を避けること。
- これにより、大規模ソーラーパネル設置に一定の歯止めがかかることになりました。

①適用設備

- ・出力50kW以上（従前どおり敷地面積500平米以上は届出が必要）

②適用範囲

- ・市内全域



研修レポート

- ▼議会広報委員会
- ▼議会運営委員会・議会制度改革検討委員会

東御市議会視察

5月18日

◆『手に取り、読んでもらえる議会広報紙』をめざして

議会広報委員会では、議会だよりの刷新を図るため、東御市議会への視察を行いました。東御市議会だよりは、昨年、県内外10市の議会だよりを取り寄せて行った市民アンケートの結果、高い評価を得たものです。

この議会だよりの特徴は、常に子どもが登場する写真を表紙に用いていることです。手に取ってもらう努力が伺えました。中頁については、2色刷りでメリハリがあり、頁構成は、その殆んどが見開き構成となっております。

見た目のインパクトがあります。大見出しは見開き状態で、4分の1を占めており際立っています。

挿絵や写真、グラフの占める割合は、紙面全体の3分の1程度と、文字数がかかなり少なくなっています。

3月号の裏表紙には、



高校生との対談コーナーを設けるなど斬新な企画や工夫が随所にあり、議会がより市民に身近に感じられる紙面構成でした。

今回の視察は、当市議会だよりの編集を見直す良い機会となりました。

今後、更に工夫を重ね、市民の皆様にも親しまれる紙面づくりに心掛けて参ります。

茅野市・諏訪市議会視察

7月7日

◆市民に期待される議会をめざして

初夏を思わせる梅雨の間の7月7日、茅野市議会、諏訪市議会を訪問視察しました。研修目的は、現在小諸市議会が取り組む2つの課題「議員定数の検証」と「予算決算の審査方法」です。2つはそれぞれ『議会運営委員会』と『議会制度改革検討委員会』に議長より諮問（意見を求められている事）されている課題で、調査し意見を出し合って一定の方向性を出す役目を担っています。

調査に先立ち、両委員



会とも「先ず県内での先進事例を」という事での視察となりました。視察結果として、2議会には特徴があり「茅野市議会」が「予算決算審査」を全議員参加の「予算決算常任委員会」で行なっている事。一方の「諏訪市議会」は、全員参加は同じだが、必要に応じ「特別委員会」を組織している事で、小諸市議会の今後の選択の参考となるものでした。尚、両議会とも平成19年より議員定数の大幅削減（5〜8名）があり、その経過やその後の議会の動きなどもお聞きする事ができました。

語る会

6月28日
～7月6日
開催

病院に期待すること・空き家対策



のご意見やご要望をいただきました。今後、集約・整理して、小諸市行政に対しては平成30年度予算・事業に反報告する予定です。



議 会 と

今年のテーマ 防災対策・小諸厚生



平成29年度『議会と語る会』を小諸市区長会と共同で開催し、市内8会場で174名の市民の皆さまよりたくさん映するよう提言し、関係機関には要望等をしてまいります。途中経過などは小諸市議会のホームページなどでも



ぼいす

キラキラ★小諸人

小諸看護専門学校生

第1回

活気ある小諸市にするために、市内で頑張っている皆さまを紹介するとともに、夢や希望を実現するためには、議会に

関心をもち、新しいコナーを企画しました。初回を飾るのは、市役所の隣にある小諸看護専門学校

の看護学生さんです。対談では、小諸在住の新1年生（男子学生2名・女子学生3名）と議会広報委員会の正副委員長

で行いました。対談内容は次のQ1〜3の3点についてお話を聞きました。

Q1 看護師を志望した動機は？

「幼少期からの夢（複数回答）」「資格が取れる・安定している」「仕事へのや

りがいい」「家族の姿をみて」「オープンキャンパスで先輩の姿をみて」など。

Q2 どんな看護師になりたいですか？

「患者さんに寄り添える看護師」「海外で災害支援等したい（NGOなど）」「専門看護師を目指す（小児科・産科）」など。

Q3 小諸市に期待するところはなにか？

普段の買い物は佐久市や上田市に行くことから、「衣料品・本など町中で買い物ができるショッピングセンター」や通学で車を利用しているため、「学校近くに駐車場」があるとうれしい。古いアパートが多いので「新しいアパートがほしい」な

どといった意見や「議会として街のにぎわいについての取り組み」に対する質問もありました。

看護学生の皆さんには議会だよりの表紙絵にもなり飛翼祭や市民祭り（神輿・ドカンシヨ）などでも、小諸市を大きく盛り上げて頂いています。



傍聴席



御牧ヶ原区 本間邦仁 さん

議会の日時を知るのに苦勞しながら時間の許す限り傍聴しています。議員の細かな調査をしての質問に何時も感心しつつも、答弁で、努力します・努めていきたい・研

究して進めたい・協議して決めたい・検討します等々、その後どうなったかは何時も疑問に思っています。少ない予算の中で、いろいろ行うことが多く大変だと思えます。議員の質問にも、どうしたら予算を生む事が出来るかの議論があってもいいのではと思います。市民の協力で出来る事はないので、行っ事多い中で順番はどうか、どれから行っか、もつと質疑応答があっても良いのでは

ないでしょうか。議案何条可決、否決と言っても、市民は何か可決で何が否決なのか具体的に知りたいと思います。もちろんそういう事はやっているとありますが、市民に伝わってきません。「議会だより」やホームページに載っていると思いますが、多くの市民は見ていますでしょうか、疑問です。一人でも多くの人が議会を傍聴し、もつと市議会に興味を持ちたいと思います。

編集後記

広報委員は、前期に引き続き3年目になりました。メンバーも交代となり、気持ちも新たに編集に取り組んでいます。

市民の皆さまに読んでもらえる「議会だより」にしていくなにはと議論を重ねてまいりました。

今号は、東御市視察を受けて、数力所リニューアルをしました。まずは、2色刷りにしてみました。議員の写真も小さくなりましたがいかがでしょうか（いらないという方もいますが）。

「議会と語る会」は、開催地8会場の写真で報告とし、詳細は後ほど掲載する予定です。

表紙と最後のページに、小諸看護学校生が登場です。2015年に「18才選挙権」が実現し、これからの社会を担う事になる若い世代の意見はより重要です。貴重な意見をいただきました。

今後多くの市民の皆さまからの意見をお聞きし、手に取ってもらえる広報紙を目指します。

(十七)